

# 学校だより 12月

令和4年11月30日  
横浜市立大岡小学校  
TEL (711) 0818  
FAX (713) 3563

## 体験的な活動から学びを深める

校長 馬渡 照代

11月は、3年生が素晴らしい歌声を響かせた区音楽会や5年生が練習の成果を発揮して頑張った区球技大会、そして、1年生の遠足など、学年行事が目白押しでした。今後も、2・3年生の遠足や社会科見学、6年生の国会見学などが予定されています。これらの中で、遠足や区の音楽会は、今年久し振りに復活した行事です。

しかしながら、また新型コロナウイルスによる感染の第8波が到来し、感染者の数が日ごとに増加してきました。感染防止対策についての指示も再三出され、その都度保護者の皆様にお知らせしているような状況となっています。今、1番感染防止に効果的だと言われているのは、換気です。室内に滞留しているウイルスを換気によって追い出すことで、感染は抑止されるそうです。学校でも、寒い季節にはなって来ましたが教室内の換気を行い、「三密防止」「手洗いの励行」など、感染防止対策を確実に行って、教育活動の歩みを止めないようにしたい、と思っています。

その一環として、1年生は久良岐公園に遠足に出かけました。大勢の友だちと校外で思い切り遊ぶ体験は、なかなかできていなかったもので、子どもたちは、とても楽しみにしていました。

しかし、本校から久良岐公園までは、大人の足でも30分以上はかかりますので、果たして1年生の子どもたちが歩けるのかな、というのが1番の心配事でした。また、コロナ禍で集団で活動する機会があまりなく、2列で静かに歩くなどの経験が乏しいのも心配の種でした。事実、「通学路たんけん」をしたクラスでは、「上手に歩けなかった。」という反省が子どもたちから出るほどでした。そのため、実行委員会を開いて歩くときや遊ぶときのルールについて話し合ったり、決めたことをクラスの友だちに伝えたりして、当日を迎えました。

雲一つない晴天の下、子どもたちは、約束事をしっかり守って一生懸命歩き、何と40分もかからずに久良岐公園に到着しました。決して急かせたわけではなく、教師が子どもたちのペースに合わせて先頭をゆっくり歩き、子どもたちも間を空けずに上手に歩くことができていたので、予定していた時間の半分で着いてしまいました。信号のない横断歩道では、一人一人が自分の目を見て、素早く渡ることもできていました。

公園に着くと、赤や黄色に紅葉した木々や無数のドングリ、子どもたちより背の高いススキが、出迎えてくれました。「ドングリの森」では、持ってきた容器を使って楽器などを作って遊びました。いくつも作って、演奏会を開いている子もいました。「ススキの森」では、森の中を駆け回り、ススキに埋もれて姿が見えたり見えなかったり。まるでトトロの森で遊んでいる「サツキとメイ」を見ているような、そんな錯覚に陥りそうでした。正味2時間、自然を満喫し、目一杯遊ぶことで友だちとの仲を深め、大変充実した時を過ごすことができました。

その間、子どもたちは時間を守って活動し、「〇時まで。」と言われた時刻にみんなで声を掛け合い集まることができました。4月の頃とは違う、随分と成長した姿を見ることができて、とても嬉しくなりました。帰りも一生懸命歩き続け、再び40分ほどで帰校することができました。しかし、さすがに皆へトへトで、到着するなり座り込んで水をガブガブ飲んでいました。

帰校式で、子どもたちに、「約束を守って、仲良く楽しく遊ぶことができた皆さんは、スーパーミラクル1年生です。」と話すとお声が上がって、みんなニコニコ笑顔になりました。本当に可愛い子どもたちです。

こうした体験は、とても貴重です。コロナ禍で、人との関わり方が上手くできない子どもたちが多くなった、と言われるかもしれませんが、大岡っ子は、抑え気味ではありますが、「なかよし活動」で繋がりをもちつづけてきています。今後も、できることから活動を再開させ、人と人との関わりを大切にしながら、様々な体験を積み重ねる機会を設けていきたいと思っています。

早いもので、令和4年も、あと1ヶ月ほどで終わりとなり、新しい年を迎えます。保護者・地域の皆様には、今年も大岡小学校と子どもたちに対して、たくさんのご理解とご協力をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。来年も、どうぞよろしくお願いたします。

☆『面構』(つらがまえ)片岡球子展 2023年1月1日~1月29日 そごう美術館(横浜そごう6階)

大岡小学校で教師をされていた片岡球子さんの展覧会がそごう美術館で開催されます。大岡小学校の校長室にある絵画「飼育」も展示される予定です。